

「 「 「 「
「 「 「
「 「
「

♪ジョイコン NEWS ♪

第43号 2020年8月1日

緊急事態宣言解除から2か月、新型コロナウイルスの感染者数は国内各地で過去最多を更新していて、第2波とも言える状況になっています。併せて、会場である大倉山記念館ホールの当面の利用制限等を慎重に検討した結果、「第47回コンサート」（9月20日予定）を延期することに致しました。公演を楽しみにされていた皆さまにはまことに申し訳ございませんが、何卒ご理解くださいますよう、お願い申し上げます。

そのため、今回の「♪ジョイコン NEWS ♪」も前回同様、簡易版（変則的な編集）でお届け致します。

【もくじ】

- 【1】ジョイコン出演者との交流広場
- 【2】今後の予定（先取り情報）
- 【3】“のん”が選ぶギターの名曲♪

【1】ジョイコン出演者との交流広場

◎第47回ジョイフルコンサートは『小暮浩史 ギターで愉しむパリの音楽』と題してお届けする予定でしたが、残念ながら延期となってしまいました。

そこで、読者の皆さまへ小暮浩史さんの「メッセージと動画」をお届けいたします。

◎更に、過去出演された熊谷俊之さん、戸澤采紀さん、務川慧悟さん、荒木奏美さんから寄せられた「メッセージと動画」をご紹介します。

■読者の皆さまにお願い■

ジョイコン出演者の方々から読者の皆さまに特別メッセージと動画を寄せて頂きました。是非、動画をご覧いただいで感想などを下記メールアドレス宛にお寄せ頂ければ幸いです。 <mailto:info@ohkurayama-joycon.com>

お寄せ頂いた感想などは、演奏者にお届けし、そのご返事は次号に載せる予定です。

●小暮浩史さんのメッセージと動画

（2020年9月20日第47回ジョイフルコンサートに出演予定でした）

「耐雪梅花麗」。雪に耐えた梅は麗しく咲くと言いますが、私もまた綺麗な音楽の花を咲かせられるよう、今は芸を磨くことに精進したいと思います。みなさまと会場でお会いできる日を心から楽しみにしております。

「N. コスト：演奏会用ロンド」（※演奏予定だった曲目です）
<https://youtu.be/1cWSuitlrK0>

「ド・ヴィゼー：組曲ト長調」
<https://www.youtube.com/watch?v=V-nAcIcktw>

「はじめてのクラシックギター」レッスン
<https://www.youtube.com/watch?v=iHu7nXnb81s>

●次に、過去出演された方々の「メッセージと動画」をご紹介します。

《1》熊谷俊之さんのメッセージと動画

（2019年11月17日第42回ジョイフルコンサートに出演）

昨年はマンドリニストの堀さんと私熊谷のコンサートにお越し下さり誠にありがとうございました。皆様の優しい雰囲気の中で演奏した中でのコンサート今でも大変印象に

残っております、ありがとうございました。
さて昨今の音楽家事情はコンサートをはじめ様々な行事が中止に追い込まれ危機的状況に陥っています。そんな自粛期間中に行った宅録ではありますが、録音した演奏をYoutubeで皆様に聴いていただければ嬉しく存じます。
どうか皆様もお身体に気をつけてお元気にお過ごしください。

「J. K. メルツ：遥かなる友へ」
<https://www.youtube.com/watch?v=k5rUTDAX4-E>

=====

《2》戸澤采紀さんのメッセージと動画
(2019年9月15日第41回ジョイフルコンサートに出演)

=====

本来音楽とはその瞬間に生まれて消えゆく尊いものですが、その空間を当たり前
に皆様と共有していたことがいかに幸せなことか。形は違えど、音楽をし続けるため
に試行錯誤する今のプロセスが、芸術発展に意味を成すと信じ、そしてまたお会い
出来ることを楽しみに、頑張ります。

「メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲」
<https://youtu.be/nbD8ln9Sj0k>
2017年スイスで行われた、Tibor Varga International Violin Competition
のファイナルラウンドでの演奏です。実は、この会場はホールではなく、大きな
ログハウスに仮設ステージをつくったような場所でした。アットホームで暖かい
雰囲気のコククールでした。真夜中まで発表がずれ込みましたが、ほとんどの
観客が残って見守ってくれていました。

「チャイコフスキー：交響曲第5番」(※コンサートミストレスをされています)
<https://youtu.be/BdLLRpafFEg>
Virtuoso Youth Orchestraは、運営から演奏まで、全てを音楽学生がやっている
団体です。主に都内の音楽大学、音楽高校の生徒で成り立っています。主要運営
メンバーの留学により一時活動休止していましたが、昨年末に特別公演を行いました。

「ブリテン：弦楽四重奏曲 第2番」
<https://youtu.be/hBYqeJcpQ44>
チェルカトーレ弦楽四重奏団による2018年年末の演奏です。なかなか演奏される
機会のない曲ですが、ある種の宗教的な響きが多く、面白いです。是非お聴き下さい。

▼戸澤さん出演のコンサート(8月22日@サントリーホール)のご案内です。
<https://yomikyo.or.jp/concert/2020/01/2020-5.php>
8月4日より、客席を減らして発売になります。

=====

《3》務川慧悟さんのメッセージと動画
(2019年7月21日第40回ジョイフルコンサートに出演)

=====

このあまりにも特別な状況下で、しかし音楽家としては自分を見つめ直す時間を過
してしまいますし、親しい音楽家達に訊いてみてもやはり同じような返答が返ってきます。
辛い、また悔しい、この時期も、偉大な音楽に少しでも近づく為の、糧とできる
よう…。また皆様に“生演奏”を聴いて頂ける日を心待ちにしています。

「ラヴェル：ソナチネ」
<https://youtu.be/cNeo4uP75ic>

「J. S. バッハ：イギリス組曲第3番」
<https://youtu.be/SIbJhnIUu20>

「サン=サーンス：ピアノ協奏曲第5番へ長調《エジプト風》」
<https://youtu.be/EMLI2IGDfTs>
サン=サーンスの全5曲あるどれも素晴らしいピアノ協奏曲の、第5番目で、彼の魅力
が本当に凝縮された作品です。昨年パリで行われたロンティボー国際コンクールの
本選で演奏しました。長年、それはそれは大好きで憧れたこの作品をパリで弾ける
ことが、夢のようで、演奏の出来自体というものはさておくとしても、今思い出して
も懐かしくなるほどの幸福な瞬間を、舞台上で味わうことができました。

=====

《4》荒木奏美さんのメッセージと動画
(2019年5月19日第39回ジョイフルコンサートに出演)

=====

皆様ご無沙汰しております。出演させて頂いた昨年とは全く違った5月となってしまいましたが、演奏中どれだけお客様に心の拠り所を作って頂いているか、新鮮な生音がどれだけ感覚を刺激するか、改めて感じる事が出来た期間でした。形は違えど音楽が戻りつつあります。また会場で、穏やかにご会い出来る日を心待ちにしております。

「クララ・シューマン：Drei Romanzen」
<https://youtu.be/MdUw25htLuE>

「グノー：小交響曲より第3楽章、第4楽章」
「モーツァルト：交響曲第36番《リンツ》」ほか

<https://live2.nicovideo.jp/watch/lv326200777>
7月3日にミュゼ川崎シンフォニーホール（無観客）で行われた、川崎市&東京交響楽団のマッチングギフトコンサートの動画です。（9月30日まで視聴可能です）

「久石譲：千と千尋の神隠しより《ふたたび》」
<https://youtu.be/hIXMsFYeEN8>

今回演奏者の方々にはメッセージと動画についてお返事頂きありがとうございました。演奏家の方のメッセージを読んで演奏動画を観ると演奏会ができないということは本当に辛いのだろうと胸が痛いです。一日でも早くコンサートが再開できることと皆様のご健康を心からお祈りしています。(A.N)

【2】今後の予定（先取り情報）

- 第48回コンサート■■
- ◇2020年11月15日（日曜日）
 - ◇出演：葵トリオ（秋元孝介；ピアノ、小川響子；ヴァイオリン、伊東 裕；チェロ）
 - ◇プログラム（予定）
 - ◆ハイドン：ピアノ三重奏曲第39番 へ長調 Hob. XV-39
 - ◆マルティヌー：ピアノ三重奏曲第3番ハ長調 H. 332
 - ◆ドヴォルザーク：ピアノ三重奏曲 へ短調 Op. 65

★予約受付開始：2020年9月21日（月曜日）午前9時より

■出演の「葵トリオ」への質問をお待ちしています。下のメールアドレスからどうぞ。
<mailto:info@ohkurayama-joycon.com>
回答は次号に掲載いたします。

■■第49回コンサート■■

- ◇2021年1月17日（日曜日）
- ◇出演：AYAME アンアンブル・バロック
（詳細未定）

【3】“のん”が選ぶギターの名曲♪

ギターの有名曲は もともと何か原曲があってそれをギター用にアレンジしたものが多くと言われています。有名曲というと、タレガの『アルハンブラの思い出』、ロドリゴの『アランフェス協奏曲』、スペイン民謡の『愛のロマンス』（“禁じられた遊び”として知られている）が思い浮かびますが、他にも素敵な作品があるのでご紹介します。

◆イサーク・アルベニス『アストゥリアス（伝説曲）』『セビリア』
2曲とも原曲はスペインの作曲家アルベニスのピアノ曲です。『アストゥリアス』の原曲は『スペインの歌』の第1番「プレリュード」ですが、原題より『アストゥリ

アス』のタイトルの方が有名ですし、演奏もギター版の方が有名です。ギターの特性を活かした編曲は もともとギターのために作曲されたのではないかと思ってしまうほどです。

◆J. S. バッハ『リュート組曲第4番 BWV1006a』

原曲は『無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第3番』です。ヴァイオリンの原曲をバッハ自身がリュート用に編曲しました。そしてリュートと同じ撥弦楽器であるギターにアレンジされました。ヴァイオリンからリュートへ、リュートからギターへと姿を変えながらも作品に息づく精神は変わらないといえましょう。

◆スタンリー・マイヤーズ『カヴァティーナ』

マイヤーズは英国の作曲家。1979年映画「ディア・ハンター」のテーマ曲として有名になりました。「ディア・ハンター」はベトナム戦争を扱ったものですが、重苦しい内容とは反対に哀愁を帯びた優しいメロディです。

◆アンドリュー・ヨーク『サンバースト (Sun burst)』

ヨークはジャズなどにも造詣が深く複雑な響きの曲もたくさん作曲していますが、この曲は一度聴いたら忘れられないほどわかりやすいメロディと響きです。車のCMで村治佳織さんが演奏して有名になりました。

◆ローラン・ディアンズ『タンゴ・アン・スカイ (Tango en skai)』

アン・スカイとはフランス語で「なめし皮 (合成皮革)」という意味で、この曲名を日本語に訳すと「まがいもののタンゴ」となります。この曲でタンゴを踊ったら足がもつれちゃいそうな「正統派のタンゴ」っぽくない曲です。速いパッセージ、ラスゲアード奏法 (左手で和音を押さえ、右手の指の爪側で上から下にかき鳴らすように弾くギターの奏法。フラメンコギターで多用される奏法のため、フラメンコ奏法とも呼ばれる)、ハーモニクスなども効果的に使われていて、響きだけでなく見た目もカッコいい曲です。

まだまだ素敵な曲はありますが、今回はここまで…。

この中でひとつでも皆さまの心に響く曲があれば嬉しいです。(のん)

【編集後記】

全国的な感染拡大が懸念されるなか、「Go to トラベル」が見切り発車されました。一方、安心して経済活動ができるようにするためには、「徹底した検査とその症状に見合った隔離と治療の体制確立しかない」との専門家の指摘もでています。例えばアメリカ・ニューヨークでは、街のあちこちに検査施設が設置され、誰でも、いつでも、何度でも、無料でPCR検査を受ける仕組みなどが整えられ、感染拡大の封じ込めに成功しているという報道もあります。日本ではどうしてできないのだろうか、何とも不思議です。(お)

※このメールマガジンは、

大倉山ジョイフルコンサートのアンケート等で
「コンサート情報」を希望された方に配信しております。

■バックナンバー

メールマガジンのバックナンバー (PDFファイル) はこちら
ホームページ: <https://www.ohkurayama-joycon.com/>

■配信停止/アドレス変更

メールマガジンの登録、配信停止、アドレス変更はこちら
<mailto:info@ohkurayama-joycon.com>

■メールマガジン「ジョイコン NEWS」の感想などお寄せください。

<mailto:info@ohkurayama-joycon.com>

発行: 大倉山ジョイフルコンサート実行委員会

Eメール <mailto:info@ohkurayama-joycon.com>

携帯電話 080-8424-5108

URL <https://www.ohkurayama-joycon.com/>
